

評価シート（年度評価）

中村公園の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：緑政土木局＞

指定管理者名	岩間造園株式会社		
主な業務内容	中村公園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市中村区中村町高畑68		
評価対象期間	令和4年4月～令和5年3月	指定管理期間	令和2年4月～令和6年3月

2 評価結果

		評価項目	評価区分	特記事項
管理体制 及び協働	1 管理体制	職員配置	○	接遇、技術、緊急対応などの能力向上研修を各職員が多数受講し、特に技術研修は、実地に即生かす取り組みを行った。 中村公園振興会の催事が新たな事業も含め滞りなく行われるよう事務局としての役割を果たした。 市民活動団体、学生が主体的に活動できるよう協力した。
		緊急時の体制	○	
		人材育成等	◎	
	2 協働	市民等との協働	◎	
維持・管理 運営等	1 維持管理	園内清掃	○	藤、松を始め、桜や芝、竹など植物の特性に合わせた質の高い管理を実施した。樹木剪定では、樹形の維持や周辺への影響を考慮し計画的に実施した。 1日2回の園内巡視において、不具合を早期に発見し、修繕が必要な案件の優先順位づけを行い、修繕完了までの日程管理を適切に行なった。
		建物・設備の管理	○	
		保守・点検・修繕	○	
		植物管理	◎	
		管理水準の維持	◎	
		関係書類の調製・保管	○	
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	○	講習会や催事においてアンケートの収集を行い、施設の看板がなく分かりにくいという意見に対応して看板設置するなど、要望は可能な限り速やかに管理運営へ反映させた。 トイレへの季節の花の一輪挿しや、事務所前への見頃の花のお知らせの掲示、事務所入口の季節に合わせた装飾など来園者に親しまれる公園づくりに取り組んだ。未就学児が参加できるイベントには女性職員の応援を増やすなど安心して楽しめるように取り組んだ。 苦情・要望へも丁寧に対応し、市への報告も適切に行った。
		利用者ニーズの把握と反映	◎	
		利用者サービス向上策	◎	
		接客・接遇向上の取組	○	
		苦情・要望に対する適切な処理	◎	
		個人情報の適切な管理	○	
	3 この施設特有の管理	記念館の活用及び施設特有の植物管理	◎	松は担当者を決めて剪定を行うことにより美しい状態を維持し、藤は適期の剪定など細やかな管理を行い花付きがよかった。また、新たに八重黒龍藤を新植した。 端午の節句や歴史ウォーク、ひな祭りなど、イベント展示やプログラムは、歴史と文化を引き継ぐ公園としてふさわしいものを実施した。
		めざす公園像への取組み	○	
	4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	○	
		イベント等の実施	◎	
		利用者への広報・情報提供の実施	○	
		利用者数の増加	○	
	5 収納金の処理業務	現金等の取扱い	○	
		関係書類の調製・保管	○	
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	
		集客対策への効果	○	
		自主事業の収支及び還元	○	
		便益施設の管理運営	○	
収支	1 収支	経費節減策	○	
		年間収支	○	
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析	○	

【総合評価】

市民活動団体や学生などのボランティア団体がイベントなどで主体的に活動できるよう協力し、また、中村公園振興会事務局として、各所との調整や準備を着実に進め、地元主体の催事も滞りなく行った。

専門技術を活かし、藤、松を始め、桜や芝、竹など植物の特性に合わせた管理を実施した。特に松の管理において担当制の導入により、技術を学ばせ人を育てながら、質の高い管理につなげた。

1日2回の巡視により、公園の状況を子細に把握し、修繕など速やかに実施した。

イベントや維持管理に利用者の意見を反映させるとともに、利用者のサービス向上となるよう工夫して業務を行った。

施設の現状

中村公園

施設の現状	施設概要							
	中村公園は、明治16年に地元有志が時の愛知県令国貞廉平に申し入れ、「豊公遺跡保存会」を設立し、豊臣秀吉を祀る豊国神社を創建したことから始まります。明治33年には「中村旧跡保存会」が設立され、豊臣秀吉誕生の遺跡を中心に土地を買い入れ、豊国神社の境内と併せて管理されました。明治34年に愛知県の所管となり、「中村公園」が設置され、大正10年に中村が名古屋市西区に編入されたのに伴い、名古屋市に移管されました。 昭和10年より拡張、近代都市公園としての充実が図られ、昭和63年作成の「中村公園再整備計画」に基づいた全面的な再整備により、園内に秀吉・清正記念館、中村文化小劇場、中村図書館や茶席等が建設され、区内の文化拠点となっています。 現在は、本園・東園・西園に分かれ、ひょうたん池を中心として西は太閤池があり、四季折々の風景を楽しむことができます。秀吉誕生の地といわれる竹林や碑、大正天皇お手植えの松など歴史的遺跡が数多く残り、周辺の史跡と一帯となって、本市の重要な歴史文化ゾーンにもなっています。							
	市の収支状況(千円)（4年度決算見込み額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	54,049	-	54,049	1,154	-	52,895	54,049	—
	特記事項							
	平成28年度から指定管理者制度導入							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	入園者数		人	297,910	277,363	277,776	261,294	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

評価シート（指定期間を通じた評価）

中村公園における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者	岩間造園株式会社		
主な業務内容	中村公園の管理運営業務		
評価対象期間	令和2年4月～令和5年3月	指定管理期間	令和2年4月～令和6年3月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分			特記事項
1 管理体制及び協働	2年度	3年度	4年度	【2年度】本部職員等による現場確認を通して、現地スタッフでは気づきにくい箇所の指摘・改善を行った。公園特有のイベントのみならず、歴史、文化、健康など地域や他施設と連携し、まちの賑わいを創出した。 【3年度】業務に精通した職員が年末年始を除く毎日施設を適切に管理運営している。実際に他園とお互いに施設訪問し、日常業務・施設特有の業務が行えるよう実地訓練を行ったほか、防災訓練も適切に実施した。技術研修のほか、自然観察指導員講習会・高齢者疑似体験講習会などの業務に生かせるものにも積極的に参加した。関係する団体が多くある中、中村公園振興会事務局として各所と調整し滞りなく催事を行った。ボランティア・地元・学生等とも協働してイベントを実施した。 【4年度】接遇、技術、緊急対応などの能力向上研修を各職員が多数受講し、特に技術研修は、実地に即生かす取組みを行った。中村公園振興会の催事が新たな事業も含め滞りなく行われるよう事務局としての役割を果たした。市民活動団体、学生が主体的に活動できるよう協力した。
職員配置	◎	◎	○	
緊急時の体制			○	
人材育成等			◎	
市民等との協働			◎	
2 維持管理	2年度	3年度	4年度	【2年度】公園灯修繕の際にLED化したり、処分予定の工事の発生材を施設修繕に転用したり、市の発注工事とタイミングを合わせた修繕を行うなど、経済的・効率的な修繕となるよう工夫を行った。計画的な樹木剪定や枝の整理など景観を意識した植物管理を実施した。大径木の切り下げを実施し落枝対策や視認性向上に努めた。衰弱木について、樹木医の診断等によりこまめな確認を行い、市へ適切に報告するとともに伐採を行った。園路の段差修繕や、飛び出し防止の植栽の補植、車両損傷の恐れのある不用基礎の撤去など安全管理に努めた。 【3年度】ポンプへの負荷軽減及び池の景観向上のため、はす池の浚渫を実施した。排水管が閉塞しないよう雨天時には排水設備の堆積物を随時撤去し、良好な状態を保っている。特殊な技術や材料を必要としない補修（平板・ILB補修等）は公園職員で迅速に実施した。架空線や児童球技場のネットを損傷してしまう可能性のある大径木の切り下げを実施した。毎日の巡視により枯れ枝の除去を随時実施。また、園路の段差などにも注意して巡視を行い、段差が生じた箇所は速やかに補修を行った。 【4年度】藤、松を始め、桜や芝、竹など植物の特性に合わせた質の高い管理がなされた。樹木剪定は、樹形の維持や周辺への影響を考慮し計画的に実施した。1日2回の園内巡視において、不具合を早期に発見し、修繕が必要な案件の優先順位づけを行い、修繕完了までの日程管理を適切に行なっている。
園内清掃	◎	◎	○	
建物・設備の管理			○	
保守・点検・修繕			○	
植物管理			◎	
管理水準の維持			◎	
関係書類の調製・保管			○	
3 運営管理	2年度	3年度	4年度	【2年度】講習会や催事において機会を逃さずアンケート収集に努めた。放置物件について、関係各所と情報共有しながら適切に対応した。 【3年度】講習会や催事において機会を逃さずアンケート収集に努めている。アンケートの結果、子ども向けイベントの要望が多かったため、子ども向けイベントを充実させた。撮影の行為許可の申請受付業務が増大することとなったが、事前説明を丁寧に行い、土木事務所とも調整し混乱なく業務を進めた。愛護会、近隣住宅、地元、関係団体などからの要望に迅速に対応している。また様々な団体の調整にも主体的に取り組んでいる。 【4年度】講習会や催事においてアンケートの収集を行い、施設の看板がなく分かりにくいという意見に対応して看板設置するなど、要望は可能な限り速やかに管理運営へ反映させた。トイレへの季節の花の一輪挿しや、事務所前への見頃の花のお知らせの掲示、事務所入口の季節に合わせた装飾など来園者に親しまれる公園づくりに取り組んだ。未就学児が参加できるイベントには女性職員の応援を増やす対応をした。苦情・要望へも丁寧に対応し、市への報告も適切に行った。
利用者アンケートの実施	○	◎	○	
利用者ニーズの把握と反映			◎	
利用者サービス向上策			◎	
接客・接遇向上の取組み			○	
苦情・要望に対する適切な処理			◎	
個人情報の適切な管理			○	

4 この施設特有の管理	2年度	3年度	4年度	【2年度】催事での記念館PR、茶庭の開放、桐蔭茶席での演奏会など施設の活用に努めている。庭園平面図を作成・配布した。 【3年度】フジは花がら切り、夏剪定を実施し、花付きが良好であった。また2度咲きも見られた。マツは管理担当者を決めて剪定・管理している。トイレの周辺に水仙など花を植え付けし一輪挿しとしてトイレに飾った。感染対策や内容変更を検討して太閤花見茶会、講習会での茶道講座などが実施できた。新たに親子ヨガや中村図書館と共催でこわいおはなし会を開催した。その他造園及び中村公園の知識を生かして所長による植栽管理講座を実施(5回)した。 【4年度】松は担当者を決めて剪定を行うことにより、美しい状態を維持し、藤は適期の剪定など細やかな管理を行い花付きがよかった。また、新たに八重黒龍藤を新植した。端午の節句や歴史ウォーク+、ひな祭りなど、イベント展示やプログラムは、歴史と文化を引き継ぐ公園としてふさわしいものを実施した。
記念館の活用及び施設特有の植物管理			◎	
めざす公園像への取り組み			○	
5 魅力増進・利用促進				
魅力の増進策	○	○	○	
イベント等の実施			◎	
利用者への広報・情報提供の実施			○	
利用者数の増加			○	
6 収納金の処理業務	2年度	3年度	4年度	【2年度】還付事務が増大したが、適切に現金の管理、書類の作成等が行われた。 【3年度】還付事務が増大したが、適切に現金の管理、書類の作成等が行われた。
現金等の取扱い	◎	○	○	
関係書類の調製・保管			○	
7 自主事業	2年度	3年度	4年度	【2年度】新型コロナウイルス対策を行いながら催事や講習会に組み込み、公園の魅力向上に貢献した。 【3年度】歴史ウォークプラスは、ボランティア団体との協働、他施設との連携、中村公園のPRの場を兼ねた相乗効果の高いイベントであり、感染症防止対策を行い実施した。
事業計画に基づく自主事業の実施			○	
集客対策への効果	○	○	○	
自主事業の収支及び還元			○	
便益施設の管理運営			○	
8 収支	2年度	3年度	4年度	【3年度】長寿命化のため、交換の必要が生じた際は、ベンチは座板を木製から再生木材に変更し、照明はLEDに切り替えをしている。
経費節減策	○	○	○	
年間収支			○	
9 その他	2年度	3年度	4年度	
法令・協定の遵守			○	
事業計画との比較分析	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
令和2年度	いかに来場してもらうかという視点で、様々な感染症対策を行い、コロナ禍の市民の活力につながる運営をしている点や、課題を的確に把握し、今後の見通しを持って管理運営している姿勢が評価できる。 安全性と見通しの確保を目的とした高木の切り下げや下枝せん定などを実施したり、中止に至った催事の費用を植物管理の長期計画を前倒して実施する費用に充てたりするなど植物管理に注力した。 施設管理においては、老朽化しつつある歴史的な価値のある建造物類の維持補修に力を注ぎ、利用の促進を図った。記念館については、登録有形文化財の特性を生かしながらさらなる利用促進を図りたい。 若者の需要取り込みについては、大学生による音楽、茶華道の公園利用及び若者のインフルエンサーとしての兆しも見られたようであるので、引き続き尽力されたい。
令和3年度	コロナの影響がある中で、感染症対策を行い、講習会・イベントなどを工夫して実施しており、それらの機会を活用してアンケートにおいても、大変満足・満足合わせて96%と満足度が高い評価を得ている。また、アンケートで寄せられた意見を次の講習会・イベント企画に反映させていることは評価できる。 毎日のきめ細やかな巡視により、園内の状況を的確に把握できていることが伺える。 安全性の確保を目的とした大径木の切り下げや高木の間伐など、植物管理を着実に実施している。また、除草管理においては、熱水除草機の活用など工夫を行いながら良好な状態の維持に努めた。 若い人を利用者に取り込む努力が認められるが、今後も情報発信の工夫などにより幅広く周知されたい。また、登録有形文化財を有する歴史のある中村公園の特性を生かし、その魅力をさらにPRされることを期待する。
令和4年度	市民活動団体や学生などのボランティア団体がイベントなどで主体的に活動できるよう協力し、また、中村公園振興会事務局として、各所との調整や準備を着実に進め、地元主体の催事も滞りなく行った。 専門技術を活かし、藤、松を始め、桜や芝、竹など植物の特性に合わせた管理がなされた。特に松の管理において担当制の導入により、技術を学ばせ人を育てながら、質の高い管理につながった。 1日2回の巡視により、公園の状況を子細に把握し、修繕など速やかに実施した。 イベントや維持管理に利用者の意見を反映させるとともに、利用者のサービス向上となるよう工夫して業務を行った。

3 利用状況等

具体的な取組みや成果等

コロナ禍においては、園内清掃や施設内消毒を頻度高く実施し、安心して来園してもらえるよう努めた。また、指定期間を通してイベントや講習会なども可能な限り実施し、来園者の増加及び満足度向上に努めた。

《来園者数》令和2年度：277,363人 令和3年度：277,776人 令和4年度：261,294人

4 収支状況等

具体的な取組みや成果等

コロナ禍において、イベント経費を植物管理費に充てるなどの予算の組み替えを行い、植物管理の長期計画の前倒しや大径木の整理を実施するなど公園管理への効果的な支出に努めた。光熱水費を始めとした価格高騰や植物管理経費が増加する中、人材育成に努め職員が行える作業範囲を広げることで、経費節減に努めた。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移

「講習会の内容」、「スタッフの対応・サービス」については、指定期間を通して6割強の方が大変満足と回答している。また「施設の清潔さ・美観」、「植物管理」については、大変満足と満足を合わせ、ほぼ95%を超えており、来園者目線で施設を適切に管理していることが伺える。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等

公募時の提案内容とアンケートなどによる利用者の意見を常に意識し、毎年度創意工夫して、改善しながら施設の管理運営を行った。

地元団体、市民団体、学生や周辺施設との協働・連携なども積極的に行い、中村公園が様々な団体の活動・活躍する場となっていることは評価できる。また、市の工事や行事の際も、円滑に行われるよう、情報共有や協力を積極的に行った。

人材育成に力を入れ、質の高い植物管理、施設管理を行った。中村公園の見どころである松や藤の状態もよく、有料公園施設の利用率も高い。また、指定期間中に大径木の整理などを積極的に行ったことも評価できる。